



国内株式の ESG 指数を新規採用し、リバランスを実施しました

GPIF では、インデックス・ポスティングにおいて様々な指数の情報収集を行っており、ポスティングされた国内株式の ESG 指数について審査を実施しました。審査の結果、以下のジェンダー・ダイバーシティ指数を採用し、2023 年 3 月にその指数に基づくパッシブ運用を開始しましたので、お知らせします。

種別	指数名
テーマ型	Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index (以下、GenDi J)

< 指数の特徴 >

- Equileap 社による企業のジェンダー・ダイバーシティに関する取組みの評価に基づき、指数構成銘柄のウェイトを調整
- 同指数の組入対象企業数は 930 銘柄¹と国内上場企業を幅広くカバー
- 業種ウェイトは中立化されており、低いトラッキングエラーと低い売買回転率を実現

< 宮園理事長のコメント >

GPIF では、投資先及び市場全体の持続的成長が運用資産の長期的な投資収益の拡大に必要との考えの下、ESG 要素の一つであるジェンダー・ダイバーシティに注目した国内株式及び外国株式のパッシブ運用を行っています。

このたび、Morningstar 社の GenDi J 指数を新規に採用し、既存の ESG 指数に基づくパッシブファンドの運用資産から一部（5000 億円相当）を回収し、同指数に配分することで運用を開始しました。今回の ESG 指数間での運用資産の配分・回収は、ポートフォリオ全体のリスク管理の一環として行うものです²。

ESG 投資は長期投資が前提であり、特定のセクターやファクターに偏りがあることで、ESG 以外の要因により、投資パフォーマンスが大きく左右されることは望ましくないと考えています。これから次世代の被保険者の皆様に必要な積立金を確保する観点から、GPIF では ESG を考慮した投資を推進してまいります。

¹ 2023 年 2 月 28 日時点

² 詳細は「ESG 株式パッシブ運用の改善に向けた取り組み」参照



Morningstar 日本株式 ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数 (除くREIT)の特徴



新規採用の国内株式ジェンダー指数の概要

指数名



Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
(略称: GenDi J)

指数の
コンセプト
・特徴

- ・強固なジェンダー・ダイバーシティ・ポリシーが企業文化として浸透企業、また、ジェンダーに関係なく従業員に対し平等な機会を約束している企業に重点を置いた投資が可能となる、ティルト型のジェンダー指数
- ・評価はEquileapのジェンダー・イクオリティ・スコアを活用し、個別銘柄のウェイトを決定
- ・業種ウェイトは親指数に対して中立化されており、トラッキングエラーを抑制しながら、運用成績が大幅に劣後する可能性を軽減するとともに、回転率を抑制し、取引コストを抑える

指数構築

ティルト型

指数組入候補
(親指数)

Morningstar日本株式指数(除くREIT)[930銘柄*]

指数構成
銘柄数

930*

GPIFの
当初投資額

5000億円程度

(注) 銘柄数は2023年2月28日時点

Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index

ESG評価	Equileap, Gender equality score
親指数	Morningstar 日本株式指数(除くREIT)
銘柄規模	大型・中型・小型株
スクリーニング(不祥事等)	Alarm Bell(セクハラ・性差別で法的措置が取られた実績がある)を付与された銘柄
銘柄数	930銘柄(23年2月末時点)
ウェイト算出方法	Gender equality scoreに基づき、5分位ポートフォリオを作成 各グループに応じたティルト係数(1.5, 1.25, 1.0, 0.75, 0.5)を指数ウェイトに乘じる
制約	個別銘柄の上限は5%
リバランス	四半期(ウェイト調整) 年1回(スコアに基づく銘柄入替)

GenDi Jの構成銘柄選定と指数構築の流れ

投資ユニバース

Morningstar 日本
株式指数（除く
REIT）

銘柄選定

- Equileap によるアラーム・ベル論争（コントロールバーシー）リストに登録されている銘柄は指数から除外*

ポートフォリオ構築

- Equileapジェンダー・イクオリティ・スコアに基づくティルト係数により構成銘柄比率を決定
- セクター配分比率は親指数に対してニュートラル
- 個別銘柄のウェイト上限は5%

（注）セクシュアル・ハラスメントやジェンダーに関する差別に起因する不祥事を起こした企業は、Equileapアラーム・ベル論争（コントロールバーシー）リストに登録され、リストに登録されている企業は、その後少なくとも1年間は指数の適格銘柄から除外される。

（出所）Morningstarの資料をもとにGPIF作成

Equileapのジェンダースコア概要



リーダーシップおよび従業員
の男女均衡度



賃金の平等と
ワークライフ
バランス



ジェンダー・
イクオリティを
推進するためのポリシー



コミットメント、
透明性および
説明責任

- スクリーニング・プロセスでは、Equileap Gender Equality Scorecard の4つのカテゴリーを考慮
- 職場での平等に対するコミットメントに基づき、各企業に全体的な評価を付与
- ジェンダー・イクオリティ・スコアに基づいて構成銘柄を各グループの銘柄数が等しくなるよう5つのグループに区分
- ティルト・ファクターと共に、浮動株修正後の時価総額を使用して最終的な銘柄配分比率を決定
- 各構成銘柄入替え時にセクター配分比率を親指数に対して中立化

Equileapのジェンダースコアの評価項目

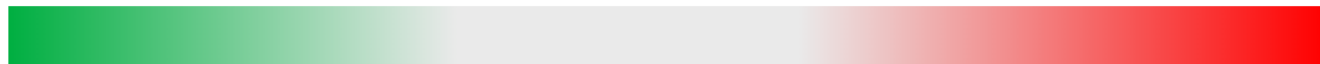
ジェンダースコアの評価項目

カテゴリー A リーダーシップ および職場にお けるジェンダーバラン ス(40%)	1 取締役会	> 企業の取締役会 / 執行権を持たない取締役会(または監査役会)におけるジェンダーバランス
	2 執行役員	> 企業の執行役員と執行委員会におけるジェンダーバランス
	3 上級管理職	> 企業の上級管理職におけるジェンダーバランス
	4 一般従業員	> 企業の全従業員におけるジェンダーバランス
	5 昇進・キャリア開発の機会	> 企業のキャリア上昇機会を知る手がかりとなる、一般従業員のジェンダーバランスと対比したときの上級管理職のジェンダーバ ランス
カテゴリー B 報酬の平等性と ワーク・ライフ・ バランス(30%)	6 公正な賃金報酬	> すべての従業員に対する生活賃金の支払いを保障
	7 男女間賃金格差	> 男女の賃金データに関する透明性、男女間の賃金格差を是正するための戦略、その実現における具体的な進捗
	8 育児休業・休暇制度	> 全世界または少なくとも法人設立国での主たる養育者・第二養育者に対する(給与の2/3以上の)有給育休の付与
	9 フレックス勤務の選択	> 従業員自身が、勤務日の始業・終業時間を決定・変更し、勤務場所を変更する選択権を有すること
カテゴリー C ジェンダー平等を 促進する企業ポリ シー(20%)	10 トレーニングとキャリア開発	> 性別に関係なくトレーニングとキャリア開発の平等な機会を保障するコミットメント
	11 採用戦略	> どの集団に属する人も差別せず、ジェンダーパリティを目指す平等な機会を保障するコミットメント
	12 暴力、虐待、セクシャルハラスメント対策	> 言葉による・身体的・性的嫌がらせを含め、職場でのあらゆる形態の暴力を禁止
	13 職場の安全性	> 職場、通勤時、業務に関する出張時の従業員の安全に加え、職場におけるベンダーの安全確保に対するコミットメント
	14 人権	> 法的・市民的・政治的問題に関与する権利を含め、従業員の人権保護へのコミットメント
	15 ソーシャルサプライチェーン	> 人身取引、強制労働・児童労働、性的搾取などを容認、支援またはそれ以外のやり方で関与するような業務上の活動を禁止する など、サプライチェーンにおける社会的リスクを軽減するコミットメント
	16 サプライヤー・ダイバーシティ	> サプライチェーンにおける女性経営企業を支援するなど、サプライチェーンにおける多様性へのコミットメント
カテゴリー D コミットメント、透 明性および説明責 任(10%)	17 従業員の保護	> 企業内部の倫理遵守義務違反を報告するにあたり、秘密の守られる第三者倫理ホットラインや文書による申立制度が、報復や 懲罰の恐れなしに利用できる内部通報制度およびポリシー
	18 女性のエンパワメントに対するコミットメ ント	> UN. Womenの「女性のエンパワメント原則」に署名
	19 監査	> エクイリープ認定団体による第三者ジェンダー監査を実施し、認証を取得

(Top Groupの方がスコアが高い)

Top Group

Bottom Group



- ・適格基準を満たした構成銘柄をEquileap GEスコアに基づき降順にランク付け
- ・ジェンダー・イクオリティ・スコアに基づいて、各グループの銘柄数が等しくなるよう5つのグループに分類
- ・ティルト・ファクターと共に、浮動株修正後の時価総額を使用して最終的な銘柄配分比率を決定
- ・各構成銘柄入替え時にセクター配分比率を親指数に対して中立化

今回採用した指数会社/評価会社の概要

米国Morningstar

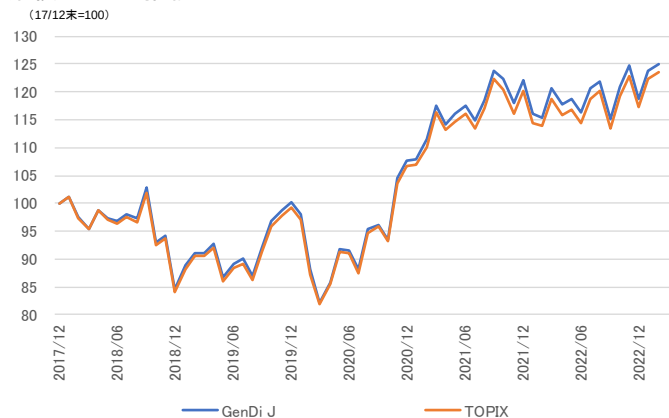
- 米国Morningstar, Inc. はNASDAQ上場の独立系大手投資調査会社、PRI署名機関
- 世界32か国に拠点を有し、個人投資家から機関投資家の皆様にさまざまなプロダクトやサービスを提供
- 各種リサーチの知見を活かし、投資可能な指数を主要資産クラスで開発、同社の指数に連動する投資商品の運用資産額は4,960億ドル。
(2022年12月末時点)
- 2020年にESGのレーティングと調査で業界を代表するサステナリティクス社を買収
- 日本ではイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社が米国Morningstar, Inc.の日本拠点として各種サービスを提供

Equileap

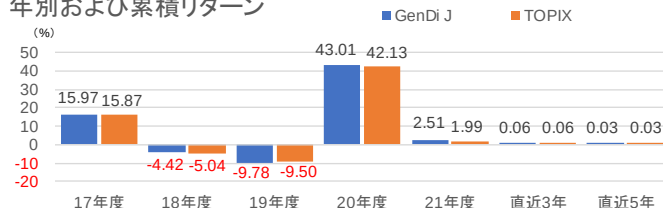
- Equileapは、企業セクターのジェンダー間の平等に関するデータや調査・分析のプロバイダー
- 2016年にアムステルダムで設立され、社会的企業として職場でのジェンダー間の平等の実現の加速を目指す
- 総合的な評価を可能にする独自のジェンダー・イクオリティ・スコアカードを用いて、世界の企業を調査
- 職場の男女均衡度、男女の給与格差、育児休業制度、セクシュアル・ハラスメントに関するポリシーなど19項目の基準をもとに企業を評価

【参考】GenDi Jのパフォーマンス（シミュレーション）

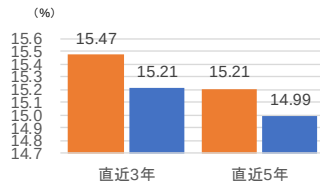
累積リターン推移



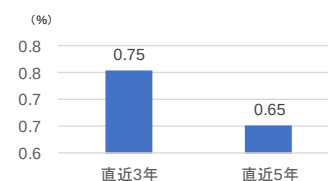
年別および累積リターン



トータルリスク



トラッキング・エラー



直近3年

GenDi J

TOPIX

aトータルリターン	5.83%	5.70%
bトータルリスク	15.47%	15.21%
cリターン/リスク(a/b)	0.38	0.37
d超過リターン	0.13%	
eトラッキングエラー	0.75%	
fインフォメーション・レシオ(d/e)	0.17	

直近5年

GenDi J

TOPIX

aトータルリターン	3.49%	3.23%
bトータルリスク	15.21%	14.99%
cリターン/リスク(a/b)	0.23	0.22
d超過リターン	0.26%	
eトラッキングエラー	0.65%	
fインフォメーション・レシオ(d/e)	0.46	

注:表は22年12月末時点でのバックテストに基づく数値であり、将来のパフォーマンスを保証するものではない

